

教育学研究科修士課程入学試験を受験予定の皆様へ

令和4（2022）年度実施の修士課程入試は、新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢の変化を受け、第一次試験（筆記試験）を対面方式で、第二次試験（口述試験）をオンライン試験方式で実施します。また、入国制限により渡日が困難な外国人及び海外在住の日本人並びに新型コロナウイルス感染症の陽性判明による療養期間中及び濃厚接触者に該当し、試験会場で受験できる要件を満たさないために第一次試験（筆記試験）を試験会場で受験できない者に対しては、第一次試験（筆記試験）を対面と同時刻にオンライン試験方式で実施します。出願についても昨年度と同様にオンライン入力と郵送の併用により行います。その他、出願に当たっては以下の諸点についてご理解下さい。

なお、試験実施に関する詳細な情報は、出願受付後、出願者へ受験票とともに送付する「受験者心得」で通知します。

1. 出願方法：オンライン入力と郵送の併用について

オンライン入力フォームは、出願開始時に、教育学研究科の公式ウェブサイトに必要な事項を掲載します。その指示に従って、オンライン上で必要事項を入力、また研究計画書等をアップロードして下さい。入力、アップロードした内容を出力して、他の必要書類と併せて郵送により提出して下さい。必要書類の詳細は募集要項の「6. 提出書類等」の欄を参照して下さい。オンライン入力と郵送の双方を出願期間内（7月11日（月）～7月15日（金））に必ず行って下さい。

2. 試験方式：対面及びオンライン方式

第一次試験（筆記試験）は対面方式で、第二次試験（口述試験）をオンライン試験方式で実施します。入国制限により渡日が困難な外国人及び海外在住の日本人並びに新型コロナウイルス感染症の陽性判明による療養期間中及び濃厚接触者に該当し、試験会場で受験できる要件を満たさないために第一次試験（筆記試験）を試験会場で受験できない者に対しては、第一次試験（筆記試験）を対面と同時刻にオンライン試験方式で実施します。オンライン受験の要件に該当し受験を希望するものは、以下のように手続きを行ってください。

（1）入国制限により渡日が困難な外国人及び海外在住の日本人

オンラインでの受験の希望がある旨をあらかじめ本研究科学生支援チーム大学院担当にメールにて連絡したうえで、出願書類の郵送の際に「オンライン試験申請書」を同封してください。なお、様式は後日研究科ウェブサイトに掲載します。オンライン受験の可否や試験に関する詳細な情報（接続テストを含む）は、受験票送付時に通知します。

（2）試験日が新型コロナウイルス感染症の陽性判明による療養期間中にあたることが判明した場合で、オンラインでの受験を希望する者

すみやかに本研究科学生支援チーム大学院担当までメールにて連絡し、指示を受けて

ください。なお、療養期間を証明する書類を提出が必要です（受験までに間に合わない場合には後日速やかに提出すること）。提出しなかった場合には、既に受験した試験結果を無効にすることもあるのでご注意ください。

(3) 濃厚接触者に該当し、以下の試験会場での受験の要件を満たさない場合で、オンラインでの受験を希望する者

(試験会場での受験ができる要件)

i) 初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR検査等の検査*1（行政検査））の結果、陰性であること。また、その後の検査の結果*2においても陽性であることが判明していないこと。

※1 初期スクリーニングの検査結果が判明するまでは対面での受験はできません。

※2 その後の検査においては、直近の検査の結果が判明していない場合であっても受験は可能です。

ii) 試験当日も無症状であること。

iii) 公共の交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと。

すみやかに本研究科学生支援チーム大学院担当までメールにて連絡し、指示を受けてください。なお、公的な証明は求めませんが、受験者本人作成の申告書（様式事由）を提出してください（受験までに間に合わない場合には後日速やかに提出すること）。提出できなかった場合には既に受験した試験結果を無効にすることもありますのでご注意ください。

(1)～(3)に関する連絡先

【教育学研究科学生支援チーム大学院担当】
graduate*p.u-tokyo.ac.jp
（「*」を「@」に置き換えてご利用ください。）

3. 外国語（英語）筆記試験の形式、出題方針について

外国語（英語）試験は、昨年度と同様に専門科目とは別に独立の試験として実施します。試験時間は2時間です。研究科全体で共通の問題ではなく、出題はコースごとに行います。また、2020年度以前は英文和訳問題を出題していましたが、昨年度と同様に各コースの教育研究分野に即した出題を行うこととし、出題方式は英文和訳に限らないこととします。過去の入学試験問題を用いて準備する場合はこの点に留意して下さい。

ただし、この場合でも、スピーキングやリスニングに関わる英語力を問うことはありません。

4. 外国語（英語）筆記試験時の英語辞書の使用について

募集要項にも記載した通り、外国語（英語）筆記試験の実施に際しては英和辞典（母語が日本語以外の受験者の場合はこれに限らない。）1冊を用いることを許可します。その辞書は、印刷されたものに限ります。それ以外の辞書（電子辞書など）や、研究科から指

定されたもの以外の文献や資料、研究科から指定されたもの以外のインターネットやソフトウェアを使用したりすることは不正行為となります。

5. 第二次試験（口述試験）について

第一次試験合格者に対して実施します。第一次試験合格者には第一次試験合格発表と同日、第二次試験（口述試験）の実施要領をe-mailによって通知します。出願時に、常時連絡の取れるe-mailアドレス（PCから送付するe-mailを確実に受信できるもの）を必ず記入して下さい。

口述試験は受験者1名と各コースの全教員により、研究科が指定するオンライン会議システムを使用して実施します。